

指標 12.2.2

指標名、ターゲット及びゴール

指標 12.2.2 天然資源等消費量（DMC）、一人当たりの DMC 及び GDP 当たりの DMC（※ 指標 8.4.2 と同一指標）

ターゲット 12.2 2030 年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。

ゴール 12 持続可能な生産消費形態を確保する

定義及び根拠

○ 定義

天然資源等消費量（DMC）は、物質フロー会計（MFA）指標であり、国内の経済活動のために消費した国産・輸入天然資源及び輸入製品の合計量である。また、本指標は、1 人当たり及び GDP 当たりで表すこともできる。

○ 概念

DMC は、国産・輸入天然資源及び輸入製品の合計量（DMI）から、輸出量を差し引いたものに等しい。

○ 根拠及び解釈

領土及び生産面の指標として、DMC は、ある経済の生産プロセスにおいて使用される材料の量を意味する。DMC は、経済のプロセス及び相互作用の物理的側面を表現している。1 人当たり DMC は、経済における材料使用の平均レベル（環境圧指標）を表し、代謝プロファイルとも呼ばれる。

データソース及び収集方法

我が国における物質フロー

環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書

<http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/>

算出方法及びその他の方法論的考察

○ 算出方法

国内の最終需要のために消費した国産・輸入天然資源及び輸入製品の合計量

○ コメントと限界

資源や製品の種類にかかわらず全て重量単位で計上しているため、資源

価値は考慮されない指標となっている。

データの詳細集計

なし

参考

なし

データ提供府省

環境省

関連政策府省

環境省

担当国際機関

国連環境計画(UNEP)